



名鉄病院 news letter

人に寄り添う 命と向き合う

平成28年 新春号



撮影:大原茂幹(脳神経外科 部長)

ごあいさつ 名鉄病院 病院長 細井 延行

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、当院にとって新1号館の竣工や電子カルテの導入という大きな行事があり、引越やシステム移行において、患者さんや関係者の皆様に、大変慌しくまたご迷惑もおかけしたと感じておりますが、本年はこの新しい建物とシステムをしっかりと活用して、快適に診療を受けていただくことはもちろんのこと、より良い医療の提供に結びつけたいと考えております。

さて、新1号館が完成したことにあわせて、HCU12床と地域包括ケア病棟40床を新設しました。特に地域包括ケア病棟は、ひとりの患者さんを地域の医療機関や介護施設が連携することにより地域全体でケアしていく「地域包括ケアシステム」の一翼を担う施設として認識しており、急性期後も入院を余儀なくされる患者さんの療養の場としてご活用いただければと考えております。詳細については当院の医療支援センターにお問合せ頂けると幸いです。

また今年、当院開業から60年という節目の年にあたります。長期に渡り皆様によりご支援頂いたことに深く感謝し、職員一同が「人に寄り添う 命と向き合う」というキャッチフレーズの下、一人ひとり丁寧に対応する1年にしたいと考えております。本年も更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

INDEX

1 ごあいさつ

2 名鉄病院内視鏡センターのご紹介

4 名鉄百貨店で
「健康チェック」イベントを実施

- ◇患者さまに苦痛の少ない検査を
- ◇最新の内視鏡システムについて
- ◇内視鏡の検査や治療について『Q&A』

臨床研修病院としての
取組みについて



名鉄病院 内視鏡センターのご紹介

名鉄病院内視鏡センター長に就任しました竹田欽一です。名鉄病院は平成27年9月24日より新1号館での診療が開始となり、同時に内視鏡室も旧1号館から新1号館へ移設となりました。おかげさまで近年の内視鏡検査数の増加実績もあり、内視鏡検査室がこれまでの2倍の4室となり、オリンパス社製およびフジフィルム社製の最新内視鏡システムを導入しました。また当院では、以前より苦痛の少ない検査を希望された方には積極的に鎮静剤を投与していますが、検査後のリハビリ（回復）室も拡大したことで、ますます多くの消化器内視鏡検査を受けられる方のご期待に応えられる設備になったと自負しております。

11月1日より正式に名鉄病院内視鏡センターと名称をいただいたことで、患者さまには今まで以上に苦痛を少なく、安全で、安心して内視鏡検査を受けていただけるように、また内視鏡検査、治療の質を向上させていくように、スタッフ一同で努力を続けていきたいと思っております。



内視鏡センター長 竹田欽一



患者さまに苦痛の少ない検査を

■ 鎮静剤の使用について

より苦痛の少ない内視鏡検査を受けていただくため、当院では積極的に鎮静剤を使用しています。検査に対して不安の強い方や、以前に胃カメラを受けて苦しい経験をした方、大腸内視鏡検査が痛くて大変だった方などにお勧めしています。検査後は眠気がしたり、注意力・運動能力の低下などが起こる可能性がありますので、約1時間は専用のリハビリ室のベッドで休んでいただきます。検査当日はお車や自転車の運転はできません。

■ 炭酸ガス送気

通常、内視鏡の検査では胃や大腸に空気を入れて膨らませながら検査をするため、検査の後のお腹のハリが苦痛となります。当院では、患者さまの苦痛が少しでも和らぐように、空気より約100倍早く水分に吸収される炭酸ガス送気を導入しています。

■ 経鼻内視鏡

経鼻内視鏡は、経口の内視鏡の半分の太さ（外径約5mm）の細いスコープを鼻から挿入します。舌根部（舌の付け根）の圧迫刺激が少なく楽に検査ができます。また検査中に会話をすることもできます。ただし経鼻内視鏡は細く柔らかいスコープですので、操作性や画像の解像度が経口の内視鏡に比べてやや劣る部分もあります。また内視鏡による処置にも多少の制限があります。

■ 小腸カプセル内視鏡

胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査を受けても、原因がわからない消化管出血や貧血がある場合などに、カプセル内視鏡検査をお勧めします。小腸カプセル内視鏡は、薬のカプセルのような形をしたものを口から飲み込むだけで検査が出来ます。カプセルの内部には小型カメラと照明が内蔵されており、無線で画像データを送信して外部装置に記録します。撮像時間は約8時間です。検査中は、腹部にセットしたデータレコーダーは外せませんが、日常生活を送ることができます。



内視鏡センター待合室



内視鏡検査室



リハビリ室



最新の内視鏡システムについて

■NBI(Narrow Band Imaging) 狭帯域光観察

このシステムでは、狭帯域化された2つの波長の光を用いることにより、発見が困難な病変を見つけたり、がんの範囲の詳細な診断をすることが可能です。食道がんや咽喉頭、喉頭のがんはNBIで観察することで、発見の精度が上がります。



通常画像



NBI画像

※OLYMPUSホームページから引用

■EUS-FNA(Fine needle aspiration) 超音波内視鏡下穿刺吸引法

EUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺吸引法)は胃や十二指腸の消化管からEUS(超音波内視鏡)で膵臓・胆道などの腫瘍を観察し、消化管内から針を刺して組織を採取する方法です。直接組織を採取し評価することにより、診断や治療方針の決定に役立ちます。



※FUJI FILMホームページから引用

■ダブルバルーン内視鏡

ダブルバルーン内視鏡は内視鏡先端とオーバーチューブ先端にバルーンが装着されています。小腸内で2つのバルーンを交互に膨らませて固定し、腸管をたたみ込んで内視鏡を進めることで、内視鏡検査が難しかった小腸全体の内視鏡精密検査・治療を可能にしました。ダブルバルーン内視鏡は、小腸の出血性病変を疑う場合や小腸の通過障害、クローン病などの病気が疑われる場合などに適応となります。



※FUJI FILMホームページから引用



+++++ 内視鏡の検査や治療について



Q:内視鏡検査の検査時間はどのくらいですか?

患者さまによって異なりますが、上部(胃カメラ)で通常15分ぐらい、大腸内視鏡は観察のみで通常20分ぐらいですが、大腸が長い人や手術の影響で腸が癒着している場合、ポリープ切除等の治療をした場合は検査時間が延長します。

Q:内視鏡で生検やポリープを切除するときに痛くないですか?

胃や腸のポリープは、粘膜面に起こる病変です。その粘膜面には知覚神経は存在しないので、切除のときには全く痛みを感じないのでご安心ください。

Q:内視鏡検査はどんなときに受ける必要がありますか?

- みぞおちが痛む
- 最近食欲がない
- 体重が減ってきた
- 胸やけがある
- 食事がつかえる感じがする

⇒このような症状のある方は、上部消化管内視鏡(胃カメラ)をお勧めします。

- よく便秘になる
- 最近下痢が多い
- 便が細くなった
- 便に血が混じる・肛門から出血する
- 貧血を指摘された

⇒このような方は、大腸内視鏡検査をお勧めします。



内視鏡検査を受けるには

内視鏡検査・治療を希望される方は、名鉄病院を受診していただくか、当院健診センターへお申込みください。かかりつけ病医院様からは、当院地域連携室へご紹介いただけるようお願いいたします。

名鉄病院地域医療連携室

TEL052-586-5755 FAX052-586-5756



名鉄百貨店で「健康チェック」イベントを実施

昨年10月12日(祝)、名鉄百貨店7階において「名鉄病院・健康チェック」を実施いたしました。当日は百貨店イベント「北海道物産展」で賑わう同じフロアに名鉄病院から医師、看護師、薬剤師、検査技師、管理栄養士や理学療法士など25名が勢ぞろい、血管年齢の測定、骨密度の検査、足腰の体力年齢を測定するロコモ度チェックなど、延べ151名のお客様に無料「健康チェック」を体験いただき、大盛況のうちに終了しました。



臨床研修病院としての取組みについて

名鉄病院では、平成16年に厚生労働省から基幹型医師臨床研修病院に指定され、適切な指導体制の下で、医師としての人格をかん養し、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけた医師の育成を理念に、昨年までに56名の研修修了者を送り出すとともに、現在、11名の研修医が日々修練に励んでいます。この研修医の育成にあたっては、西区医師会の皆様を始め、西部医療センターや名古屋第一赤十字病院の協力を受けながら、院内の指導医、看護師、薬剤師などの医療従事者をはじめとする病院職員全員で取り組んでおります。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 052-551-6121 (代表)

診療科目

- 総合内科 ● 循環器内科 ● 消化器内科 ● 神経内科 ● 血液内科
- 内分泌・代謝内科 ● 呼吸器内科 ● 小児科 ● 外科 ● 整形外科
- 消化器外科 ● リハビリテーション科 ● 脳神経外科 ● 婦人科
- 皮膚科 ● 泌尿器科 ● 耳鼻咽喉科 ● 眼科 ● 放射線科 ● 腎臓内科
- 病理診断科 ● 麻酔科

診療センター

- 予防接種センター ● 健診センター ● ウロギネセンター
- 認知症患者医療センター ● 関節鏡センター ● 糖尿病センター
- 内視鏡センター

専門外来 ※予約制 (一部を除く)

- 禁煙外来 ● 乳腺外来 ● インスリン導入外来
- スポーツ内科 (他院からの紹介の方のみ) ● シルバークリニック
- 小児慢性疾患外来 ● 乳児健診 ● 女性泌尿器科外来 ● 肝臓外来
- ストーマ外来 ● フットケア外来 ● ペースメーカー外来
- 糖尿病眼合併症外来 ● ASO外来 ● 糖尿病透析予防外来
- リウマチ外来 ● 関節鏡外来 ● スポーツ外来
- 小児整形外科 毎月1回/不定期 ● 脊椎外来 ほか



※旧館跡地に、新しい車寄せ・駐車場を整備しています。もうしばらくお待ちください。

【3号館→1号館へはパノラマストリート(3階)で連絡しています】

車でお越しの方は引き続き「3号館車寄せ」をご利用ください。

病診連携に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6121 (代) FAX. 052-551-6711